

提出されたご意見と潮来市の考え方(潮来市DX推進計画(素案)に対するパブリックコメント)

NO.	提出された意見	市の考え方
1	<p>潮来市DX推進計画(素案) 概要版 全体版 潮来市第7次総合計画の3方針(計画/概要/全体版)リンクがしきれていないと感じ、DX推進にて何をしたいか、誰の目線で作られたかが、謎であるのが率直な感想である。</p> <p>DX推進の進め方、私個人的な認識では、 内(行政内の効率化) 外(市民の利便性) どちらかをフォーカスし、着実に進めていくのが基本と考える。</p> <p>今回素案では、下記の意見21)で述べるとおりなのですが(内、行政内の効率化)、幾分かの外(市民の利便性)も見受けられる。</p> <p>着実にDX推進を進めたいのであれば、どちらかにフォーカスして地道に進める事が達成に繋がるのではないかな。</p> <p>あちこちに手を付けて、何も達成しない事例は世の中に溢れている。</p>	<p>本計画は行政サービスの利便性向上と業務効率化を図るべく、市としてDXを推進するための基本方針や具体的な取組みを市民の皆様にお示しするものです。また、本計画では情報通信技術の活用により、一人ひとりの生活を豊かにし、誰一人取り残さないデジタル社会の実現を目的としています。</p> <p>本計画の計画期間が令和7年度末までとなることから、ご意見のような感想になったかと思われます。</p> <p>本計画では国の自治体DX推進計画に対応する形での計画となっています。</p> <p>ご意見にあるように、内(行政内の効率化)と外(市民の利便性)のどちらかにフォーカスした進め方は有効とされますが、行政内部のみにフォーカスしてしまうと単なるICT導入となってしまうので、現状の業務を見直し、職員の仕事の効率化及び市民の利便性の向上両方を図る必要があります。初期段階では、市民の利便性を向上させるために、行政内部の効率化を図る内容となります。ただし、行政内部の効率化のみを先に手掛けていると、市民の利便性が後回しになってしまうので、併走するような計画となります。</p> <p>意見21もご意見をいただいているように、業務効率化によって縮減できた時間を0から1を生み出す時間に使いたい考えです。</p> <p>また、ご意見の「あちこちに手を付けて、何も達成しない」ことのないよう気をつけてまいります。計画を進めていく中で、予定していた計画の変更が生じる可能性もあるかと思われますので、ご理解願います。</p>
2	<p>概要版をまずは目を通すのがセオリーだが、あやめちゃんともう一匹?茶色い鳥が存在し驚いた。</p> <p>調べてみると、よしきり?要するに鳥のスズメらしいが?、その存在を存じ上げなかった。</p> <p>よしきり?に目が行き、それ以降の素案を見る集中力が個人的には低下した。 (目が釘付けになるポテンシャルはある?)</p>	<p>「よしきり」も潮来市PRキャラクターですので、多くの方に親しみを持っていただけるようPRに努めます。</p>
3	<p>1-6 本市を取り巻く現状の(1)ICTの利用状況の動向調査の図に問題があると考えます。 本市を取り巻く状況のエビデンスとなる図が不思議なことに茨城県のデータである。 本市を取り巻くはずが茨城県のデータ?</p> <p>その図(動向調査)の下側に進むと(3)著しい人口の減少、少子高齢化の進行内に、 また本市では、全国的な傾向よりも早く若年女性の減少や高齢化の進行が顕在化すると見込まれているため、人口減少や人口構造の変化への対応が必要な状況です。とある。</p> <p>※全国的な傾向よりも早く若年女性の減少や高齢化の進行が顕在化すると見込まれているため※</p> <p>この部分を考えても茨城県のデータ = 潮来市のデータとして参考になるとは断定は出来ない。 潮来市の動向調査をしていない中に、茨城県のデータを無理に潮来市に当て嵌めるのは不適切であり、茨城県DX推進素案ならば納得がいく。 よって冒頭から疑問を抱く素案である。</p> <p>(本来ならば潮来市のデータがない場合は、手元にある茨城県データに加えて潮来市に似ている自治体データサンプルなどのデータを加えて、潮来市データとして寄せて行く事が無難である。今回の素案以外にも潮来市はその他の政策に対しても茨城県のみデータを使用することが多いと感じ、いつも不思議な感覚に陥る。)</p>	<p>ICTの利用状況の動向については、ICTの利用状況に関する潮来市及び類似自治体のデータが存在せず、地域性を考慮し茨城県のデータを利用しています。</p> <p>また、第2期潮来市人口ビジョン・総合戦略の資料を基に「全国的な傾向よりも早く若年女性の減少や高齢化の進行が顕在化すると見込まれているため」と記載している点については、ICTの利用状況とは別に、人口の減少や少子高齢化の進行が、今後の行財政に多大な影響を及ぼす可能性がある本市の現状を記載したものです。</p> <p>そのため、著しい人口の減少、少子高齢化の進行については、本市のデータを利用しています。</p>

提出されたご意見と潮来市の考え方(潮来市DX推進計画(素案)に対するパブリックコメント)

NO.	提出された意見	市の考え方
4	<p>概要版素案のよしきり？(鳥)の下側に、スマホ教室とあるが、  <b>【基本方針 3】 デジタル基盤の整備促進・職員の人材育成</b>                      (1) デジタル化による諸課題の解決 &lt;主な取組&gt; &lt;具体的な取組事例&gt; ① 高齢者向けスマートフォン教室の開催 のことだと思われるが、なぜ高齢者にフォーカスした教室なのだろうか。</p> <p>近年スマートフォンは飛躍的に進化を遂げており、高齢者でなくとも使いこなすのが難しくなっていると個人的には感じる。                      対象を高齢者にフォーカスせずに広く深く教えるべきではないか。</p> <p>誰一人取り残さないとは、この様な事柄ではないか。                      (21世紀はスマートフォン1つで自分の未来を変えられると個人的には感じる、この未来を明るい方に導くことによって潮来市の未来も明るい方向に導ける可能性を秘めていると思わないか。明るい未来への可能性の1つにスマホ)</p> <p>又、高齢者でもスマートフォンを立派に使いこなしている方を潮来市内で見かけたことがあるので、官民共同で講師として教えていけば効率が良いのではないか。                      そうすることにより、地域の取り組みへの参加、やりがいの創出、官だけでは教室開催時以外は勉強できないが、民ならコミュニティ内で教えあう事が可能と考える。</p>	<p>「誰一人取り残さない」というのはデジタル技術に触れる機会がない人に対して、デジタルを使わない選択の自由を確保するため従来の手続きを残し、またデジタル技術の利用の機会を持ってもらうことであります。高齢者に限らずデジタル技術に不慣れな方については、従来の手続きを残しながら、デジタル技術の利用を推進していくことを想定しています。</p> <p>また、高齢者のデジタル機器の保持数は向上しているものの、利活用の状況については本計画の1-6(2)で示している通り、他世代層と比べて活用できていません。</p> <p>そのため、利用促進の一例として高齢者のスマートフォン教室を記載させていただいたところです。しかし、ご意見いただいた通り、高齢者以外の方でも希望する方がスマートフォン教室を利用することができるよう文言の修正をいたします。また、その教室での講師につきましても官民共同でのご意見を参考にして進めていきたいと考えます。</p>
5	<p>意見4) によって形成されるコミュニティにシナジー効果を生めたとしたら初めて、スマートフォン = 生活に必要と言う認識が芽生えDX推進に繋がると考える。</p> <p>なぜ上記スキームを形成しないでDX推進を急ぐのか、それが誰一人取り残さないと言えるのか。                      又、スマートフォンを所有しなければ教室に参加しても学ぶ機会が少なく感じるが、その対策まで考えられているか。                      要するにスマートフォンを持っていない方への対応策</p>	<p>スマートフォン教室においては、スマートフォン等の所持を必須としているものではありません。経済的な理由、その人にとっての必要性や使い勝手等の理由により、スマートフォンを持たない方々がいると思われれます。市で考えているスマートフォン教室では、持っていない方にも「これ便利かも」とも思っただけのきっかけとなるよう、所有していない方々も対象として開催する想定です。つきましては、所有していない方々への学ぶ機会の提供も想定しております。スマートフォン等の使い方の支援をすることで、それまでは使わなかった方々が使う人になってもらうことで、デジタルを利用できる方々に変わっていただきたい思いもあります。</p> <p>また、「誰一人取り残さない」の意味としては、上記に加え、スマートフォン等を所有していない人、使えない人を切り捨てることがないように、これまでと同じようにアナログでの動線を残しデジタルを使わない選択の自由の確保に留意するという意味です。</p>

提出されたご意見と潮来市の考え方(潮来市DX推進計画(素案)に対するパブリックコメント)

NO.	提出された意見	市の考え方
6	<p>※意見6)へは 4つの回答が必要 (?部分)</p> <p>概要版の冒頭の中段に赤字に続き、スマートシティ化と記載があるが、そもそもスマートシティとはどのようなものを理解した上で使っているのか。</p> <p>DX推進素案とスマートシティのリンクが見えてこないが?</p> <p>(スマートシティとは限りなく予算が必要な政策とを感じるが、予算はどこから捻出するのか、議会で質問された防犯カメラ関連でさえ最低必要台数さえ実現に至っていない気がする、ついこの前まではコンパクトシティを目指す方向性と記憶していたが、スマートシティではなく、軟弱に定義を変形させたコンパクトシティのほうが現実味があるのではないかと?)</p> <p>まず第一に覚えておいていただきたいのが、潮来市へは次世代通信技術が配備されないのでは?と個人的には考えている。</p> <p>又、現段階においても光通信でさえ各局のインフラ整備が行き届いていなく、同じ区内でも1丁目はOK、2丁目はXなどの状態である。</p> <p>※インフラ各社は面倒な地域は契約前に個別に対応可能 (OK) かを提示しながらないので、申し込み後数十日待ち、ここでは開通不可能 (X) と言う対応。</p> <p>加えて、通信処理速度が遅く仕事に支障を齎すレベルである。私はどうしても処理速度が必要な仕事をする場合は他の町に行き作業をしている。</p> <p>上記ネット環境は住民の自助努力では解決は困難である、解決策はないか? (インフラ各社に確認済み、私のPC複数台はCPUスコア17000~はあり、その他のチップなども適切な使用でPC処理速度、有線接続/LAN規格など全て適切な環境)</p> <p>気のせいか大手通販サイトA社などの潮来市への翌日配送などが指定できない商品が大半だが、数年前は翌日配送出来ていたが、スマートシティ化の弊害になるのではないかと? (隣接する町の住所を指定すると翌日配送になる気がする)</p> <p>上記状態で潮来市のDX推進に必要不可欠 (マスト) な次世代通信技術が手に入るのだろうか。 (私の関係各社への聞き取り調査では、潮来市へ現段階ではインフラ設備は未定であると回答を得ている (未定とは私の希望を消滅させないようにオブラートに包んで言葉を選んでいと感じた))</p> <p>IoT を例えにするが、 21時から楽しみにしているTVドラマがあり、21時にTVに電源を入れて と IoT 上で指示をした場合に、回線処理速度が乏しく家電のタイムラグで21時10秒からTVが見れる環境が整うと、TVドラマは序盤数秒などでギュッと濃縮した展開設定も多く存在し、貴重な場面を逃すことになる。</p> <p>言いたくはないがネット通信型セキュリティシステムなどは、セキュリティが完了するまでにラグがあり過ぎると、お分かりのとおりそのラグ間 (未セキュリティ状態) は非常にリスクを伴うと推測できる。</p> <p>IoT とは ↓ (DX推進にあたりマストと考えるが、潮来市DX素案では解説が存在しないので私が解説) IoT とは、従来インターネットに接続されていなかった様々なモノ (センサー機器、駆動装置 (アクチュエー)、住宅・建物、車、家電製品、電子機器など) が、ネットワークを通じてサーバーやクラウドサービスに接続され、相互に情報交換をする仕組みです。読み方は「アイオーティー」で、「Internet of Things」の略からもわかるように「モノのインターネット」という意味で使われています。</p> <p>モノがインターネットと接続されることによって、これまで埋もれていたデータをサーバー上で、処理、変換、分析、連携することが可能になります。このような IoTの技術を活用することによって、これまでに無かった、より高い価値やサービス生み出すことが可能になります。また、センサーやデバイスといった機器、通信インフラ、クラウドサービスの高性能化、低価格化が追い風になり、IoTの導入がより身近なものになってきています。</p>	<p>スマートシティは大掛かりな取組みばかりではなく、本市の置かれた状況や住民ニーズに対応した取組みを実行することもスマートシティであると言えます。そのため本計画においては、【基本方針3】デジタル基盤の整備促進・職員の人材育成の (1) デジタル化による諸課題の解決に記載した各種取組を実行することで、市民の皆様が安心・安全に生活することができる環境を整備し、地域活性化、日常生活等における諸課題の解決を図るため、本市の置かれた状況や住民ニーズに対応した取組みを実行してまいります。</p> <p>コンパクトシティは集約型の都市構造を示すものであり、都市構造の空間的な集約による効率化を図るものです。一方でスマートシティは、情報通信技術を活用しつつ地域の諸課題の解決を図り、新たな価値を創出し続ける持続可能な都市や地域を言います。 そのため、情報通信技術を活用すること及び本市の置かれた状況や住民ニーズに対応した取組みを実行することから、スマートシティという表現としました。</p> <p>「通信処理速度が遅く仕事に支障をきたすレベル」ということでありますが、インターネット環境は、民間の通信事業者が提供しておりますので、現状での解決策は当市では持っておりません。しかし、個人での費用はかかりますが「大容量での通信速度を上げることは可能」である旨を聞き及んでおります。詳細につきましては、現状では民間の通信事業者にご相談いただければと考えています。</p> <p>大手通販サイトの翌日配送が指定できない商品が大半であるとのことですが、この内容がそのままスマートシティの弊害になるとは考えていません。 スマートシティは本市の置かれた状況や住民ニーズに対応した取組みを実行することでもありますので、次世代通信技術が整備されない状態でもその通信技術の中で住民ニーズに対応した取組みを進めることができるよう努めてまいります。 しかし将来にわたり、現状での次世代通信技術環境が改善されなければ、ご意見のように、将来像ではありませんが、スマートシティ化に影響が出る可能性があると思われれます。そのため、DX事業の推進にあたり、通信事業者との連携が必要となる場合には連携を進めてまいります。 現状での回線処理速度、処理速度に由来するセキュリティ面での危険性に対するご意見、また、IoTに関する解説、大変ありがとうございます。参考にさせていただきます。</p>

提出されたご意見と潮来市の考え方(潮来市DX推進計画(素案)に対するパブリックコメント)

NO.	提出された意見	市の考え方
7	<p>上記のように色々と疑問点がある素案なので、疑問点を解決するには、潮来市第7次総合計画に移る必要があると推測するので下記に移る。</p> <p>要するに、潮来市第7次総合計画の目的遂行への補助のDX推進と感じ取れるが、潮来市第7次総合計画の適格性や再現性が担保されて始めてDX効果を期待出来るものであると考えられるが、適格性や再現性が担保されているのか。(あくまで計画/素案なので、などの回答は不要、計画とは成し遂げるにあたり適切な道筋と考える)</p>	<p>本計画の上位計画としては総合計画となりますので、総合計画に掲げる各構想、施策等を、ICTの側面から推進するための方針などを示した市DX推進計画となります。総合計画での課題解消や掲げた計画を進めるための一助や手段となるよう、DXを進めていく考えです。もちろん、課題全部をDXで解消することができるとは思っていません。</p> <p>なお、適格性や再現性については、基本構想、その下の基本計画でも、より具体的な計画が示されておらず、方向性として示されているケースがあるかとも思われますが、総合計画、基本計画の策定時点の方向性しか示していないことがありますことご理解願います。</p>
8	<p>潮来市第7次総合計画では広域性を持たせる考えが使われているが、広域性とは何らかの犠牲を伴うと考えられる。</p> <p>犠牲とは ↓</p> <p>総数 10  <math>5-1 = 4</math>  <math>5+1 = 6</math>  <math>4+6 = 10</math></p> <p>この総数10は限界生産性とも似ている、足しても引いても総数は変化はしない。</p> <p>潮来市が <math>5-1 = 4</math> の 5</p> <p>になってしまった場合の広域性の意義とは？                      (要するに広域性を持たせることによってシナジーは生まれなく、失っただけ)</p> <p>下記 意見10) でも述べるが、  <math>1+1</math>                      ではなく、                      0から1を創出する必要がある。                      (厳密には必要に迫られていると考える)</p>	<p>現在、広域化しているものとしては、消防などは鹿行広域で運営しています。このように潮来市単独で運営するよりも鹿行地区など広域で事務を運営したほうが効率的なものは 広域組合を構成して運営しています。</p> <p>ご意見は、P11の「3 将来の潮来市の暮らし方」また、図「潮来市と地域・広域との関係」を読んでいただいてのご意見かと推測いたしますが、広域性により潮来市がシナジーを失うようなことはないよう努めます。</p> <p>確かに、0から1を創出することは必要ですが、潮来市だけではなく、周辺地域との関係性も見据えた創出も必要かと考えます。そのため日常生活や経済活動における周辺地域との関係性の構築や、東関東自動車道水戸線を軸とした東京、成田、水戸市との連携を前提とした暮らし方を目指していくことも必要だと考えます。</p>
9	<p>意見8) の、犠牲と誰一人取り残さないことや平等との関係性には疑問が残る。</p> <p>広域性を持たせて物事を考えてしまうと、自助努力以外の外部の力がマイナス方向に加わってしまった場合は、自助ではバランスが保てなくなるがその際の対応策は？                      (民間で言えば連鎖倒産など)</p> <p>広域性 (上記の総数10) = 限界生産性 の関係から、                      潮来市が <math>5-1 = 4</math> の 5 になり、                      潮来市限定の総数5が4に減った場合の、自助努力でバランス=町の現状/未来 を担保する対策が必要と考える。</p>	<p>広域性のリスクについてはご意見のとおり心配があるかと思いません。これからは広域性を伴った事業においてもスタート時点の関係性が途中でマイナスに転じることもあるかと思われるので、ご意見を参考にこれからの広域性についても考えていきます。</p>
10	<p>水郷の歴史、文化を理解し教育や産業に活用すると、潮来市第7次総合計画の図一まちづくり理念ではあるが、産業は理解出来なくもないが、実態としては今までの出来なかったものを出来るようにする、(出来なかったと言う解釈は、潮来市第7次総合計画の参考図/グラフから衰退傾向と判断して使用)</p> <p>※ 0から1を創出するのは至難の技 だが、自主財源豊富な市町村は <math>1+1</math>を繰り返してプラス方向に膨張していくが(市場原理主義/新自由主義化の強者の法則に似ている)、自主財源が乏しい市町村は 0から1を創出する事が必要と考えられる※</p> <p>0から1を生み出せるのか？</p>	<p>0から1を生み出さなければ市が成り立たたたなくのであれば、生み出すしかありません。例えば、民間会社が路線バスを廃止し、その路線バスを利用されていた方々を支えるために、広域路線バスを開始したりしました。これはひとつの例ですが、これまでできなかったものを一度にやれるかどうかは別として、0から1を生み出すことは必要だと思っています。</p>

提出されたご意見と潮来市の考え方(潮来市DX推進計画(素案)に対するパブリックコメント)

NO.	提出された意見	市の考え方
11	<p>水郷の歴史、文化を理解し教育や産業に活用すると、潮来市第7次総合計画の図一まちづくり理念ではあるが、教育に当て嵌めるのが非常に難解な考えで理解に苦しむ。</p> <p>教育にどう当てはめていくのか？</p> <p>教育とは潮来高校の地域ビジネス科の事であれば、大切な高校での学生生活は3年間しか存在せず、その3年間に水郷の歴史、文化を理解させる教育とは疑問が残る。</p> <p>水郷の歴史、文化を理解する事によって何を得られるかが明確ではない以上は、将来の選択肢候補を他に向けて増やして行く方が賢明な将来を学生は歩めるのではないか。 ※潮来に若者を残す、外に出させないなどの意図はないとは考えるが、その意図が存在した場合は生徒の未来権利の侵害に当たる</p> <p>地域ビジネスに特化した科と読んでのとおり推測はするが、地域のビジネスとは？と言う疑問も生まれる。 日本一の水路・潮来、SDGSなどのタイトルで活動もしているようだが、そもそも日本一のなんやらは市長の意向であり、それを大切な3年しかない学生生活の中で時間を割く行為が不信感を懐く。 あくまでもタイトルは誰かに決められて行動するものではなく、自主的な疑問や不思議などを見つける事によってのみ、中身を伴う結果が生まれるのではないかと個人的には考える。 継続は力なりとはよくいったもので、本来は継続は中身を伴わない場合は継続をしようが中身を伴った短期間の人間に追い抜かれる。 本来は地域ビジネスとは地域の課題を解消できるスキームを持つビジネスである。 地域の課題が日本一のなんやらだったとは驚きを隠せない。 正確には潮来市役所の課題である。</p> <p>そもそも論になるが、ビジネスと言うのは非常に難解で、特に衰退した町で行うビジネスは至難の技である。 ビジネスを細々と続けることは出来ても、社会保障やインフラを使用した分の納税を出来るほど、しっかりとした利益をビジネスで確保することは至難の技である。 その中に地域の課題までを背負わせようとする行為自体が学生の重みに繋がらないかを非常に危惧する次第である。 簡潔にビジネスに特化させた方が将来の選択肢は増えると個人的には考える。</p> <p>自営/法人の10年生存率は統計にはばらつきがあり6~25%と言われるが、私の肌間では数%と感ずる。 完全なホワイトな経営、税金に頼らない10年生存率は1%を切っているのでは私の肌間では感ずる。</p> <p>第一に衰退した町でのビジネスには非常にリスクがある事がコロナ禍で証明された。 衰退して自主財源が乏しい町は自営/法人への援助が乏しく、自主財源豊富な町は手厚い援助があり、その中でフェアに戦うことは出来ず、私もその1人になります非常に頭を使った経営を強いられた次第である。</p> <p>町から援助(補助/交付金など)が手厚く与えられた法人/自営の賢い経営者は、一目散に経営投資に使いその資金がユーザーを誘い込み売上や利益に繋がりがやすく、急に競合他社の売上が増えていく様を見た時は驚いた次第になります。 これが町を選んでビジネスをする意義かと感じた。</p> <p>私は頼まれてビジネス講師などをすることが多々あるが、コロナ前は売上が落ちて悩んでいた他町の生徒達へ町からの援助を投資に使うて欲しいと何度も説得し、町からの援助により面白いように売り上げが上がっていく様を見ていて、町によって経営投資に使える援助の大きな差があること自体が、フェアではなくアンフェアであると感じた。 アンフェアな中で経営は手慣れたビジネスで利益を確保できていた、急げた私的には非常にやりがい創出され潮来に住んでいて心から良かったとコロナ禍は感じた次第になる。(嫌味などではなく本当に感じた)</p> <p>しかしビジネスを学んでスタートアップを目指す学生には適した環境ではない事は否定することは出来ず、スタートアップが潰れてしまう、自分の意にそぐわない不健全な経営手法に手を染める可能性を誘発しかねない由々しき事態と感ずるを得ない。</p> <p>ビジネス人材を育成するにはメリットがあり納税や雇用の創出、その他の社会活動への貢献などへ循環され潮来へ返って来ることを忘れずに、町の未来への投資と考え、町も高校も一丸となって本気でビジネス人材を育てて行くのが賢明な選択と個人的には感ずる。 間違えてもホワイトに成功を成し遂げた経営者本人以外の方などを講師に招き入れ、学生へ指導をするなどは辞めて欲しい。 私は数多くの講師やコンサルや経営者を見てきたが、生徒達が可哀そうに失敗への近道を学んでいるなど感ずることが多くあり、その後の生徒の動向も定期的に確認するが見るに堪えない状態である。(生徒とは経営者)</p>	<p>市の方</p> <p>対象は児童や生徒としており、自分たちが生まれたり、育ったり、住んでいる水郷の歴史や文化を学ぶことで、水郷ってこういう歴史があったんだ、こういう文化があったんだと学んでもらうことを示しています。故に、潮来高校地域ビジネス科の生徒に焦点を合わせるものではありません。また、水郷という潮来市だけにとどまらず香取市なども含めた広域での地域になるため、生活を潮来市だけで完結するのではなく広域でのまちづくりも求められることから、水郷という特有の環境が歴史と文化を育み、現在の地域資源が成り立っていることから、歴史や文化の理解を深め、水郷という地域の価値を高めることも求められると考えます。</p> <p>また共通したテーマをグループや個人のそれぞれが提案していくプロセスが無用なものだとは考えていません。</p> <p>市民と行政が自ら有する創意工夫で将来の資源や魅力を理解し、「ひと」「まち」がともに成熟していくことを目指していくために、地域ビジネス科の生徒さんとともに考えていますし、考えていきます。</p> <p>事業が学生にとって重みになっているようでしたら、協働はできませんので、負担感についての把握に努めます。</p> <p>また潮来市では、起業・創業希望者に対して商工会等と連携して事業のスクリーニングや事業計画作成等の支援を行っており、コワーキングスペースの無料貸出など事業開始に向けた支援を実施しています。 今後も商工会等と連携して支援ができるよう努めてまいります。</p>

提出されたご意見と潮来市の考え方(潮来市DX推進計画(素案)に対するパブリックコメント)

NO.	提出された意見	市の考え方
12	<p>潮来市第7次総合計画の第3節の2(持続可能なまちづくりのあり方)では、不断の改革と地域経営という視点を持ち、行財政改革を推進するとともに、歳入確保と歳出の適正化等に取り組みますとあるが、潮来市第7次総合計画からはその不断の決意が窺えない。</p> <p>地域を経営していくと言う、不断の決意があるのか?</p> <p>地域経営ではなく地域管理しか潮来市はしていないように見えるが。(不断とは絶え間なく続く事柄)</p>	<p>「不断の改革」につきましては、基本計画、第3章の行財政分野、基本施策3-2行財政運営に記載しておりますが、第5次行政改革大綱を策定していることから、総合計画では不断の決意は読み取れなかったかもしれません。</p> <p>地域経営に関しましては、例えば、単純に歳出削減するのではなく、市民サービスを極端に低下させることなく、歳出を抑制するという立ち位置で行財政改革を進めることを意図しています。</p>
13	<p>第3節 計画策定にあたっての社会、経済活動の認識に関しては、読んでいて絶望しか見いだせないが、どのような意図でこの文面が制作されたのか。</p>	<p>基本構想第3章第3節「計画策定にあたっての社会・経済動向の認識」につきましては、社会と経済動向の現状と今後の課題という認識をしていただいて構いません。このような、現状と今後の課題を少なくしていくために、基本計画などの展開が必要になってきます。</p>
14	<p>第5章 産業復興分野 以前からも観光業への期待度?が高いように見受けられるが、 第5章 産業復興分野 5-3-4 である、観光プロモーション活動の充実に至っては、SNSによる情報発信と記載されているが、シティープロモーションと思われる潮来市HPのYouTubeの動画再生数が、※大半の動画が100回再生に至っていない※ 偶発的に数百回再生回されている動画は、私はスポーツに詳しくないので断定は出来ないが、オリンピック?で有名な海外の選手へのインタビューであり、シティープロモーションが成功した訳ではなく(数百回再生で成功とも言えないが)、選手の過去の功績に依存されたものと考えられる。 令和5年9月1日早朝時点の再生数の確認だが、動画総数369本に対して大半の動画が100回再生回っていない状態が奇跡の様な不の状態である。 ※潮来市職員は200名以上いるが、職員がシティープロモーションを見ていないのが再生数から判断でき、不思議でならない※</p> <p>(私は見ていないが、見ないには理由があり再生したい/させたいと言う、パッション/エモーションを感じられない動画であるのが理由、しっかりとSNSの基本戦略その他を勉強してからプロモーションをするべき。巧遅は拙速に如かずと言う言葉はあるが、ネット媒体は永久的に記録が残る物(消しても厳密には消しきれない)なので、巧遅が必要だろう。普通に考え数百本の動画を数年かけてアップしていき現状の悲惨な状態になっていると言う事にはそれなりの理由があると考えべきである)</p> <p>本当に観光プロモーション活動をする気があるのか?</p> <p>(余談だが潮来市の観光スポットへのレビュー数が著しく少なく感じる、レポートを生むための不断の努力をしていないと推測する。私は仕事の合間に評判が良い/行政が新たに投資をした観光スポットの体験に行く事があるが、情調とDXによりシナジー効果を生んだスポットを見た事がないが、レビューや評判が良いスポットには必ずと言っていい程の統一されたスキームが存在していると感じる、この成功のスキームとは逆に失敗のスキームにも統一性があると感じる。成功と失敗は表裏一体の関係)</p> <p>又、DX推進概要 最新のICT技術による観光のDX化など 内に、VR(人間がメガネみたいな物をつけている)が登場しているように見受けられるが、潮来市が推している?観光産業は、個人的な肌間では人間が情調を感じるスポットをフォーカスしていると推測するが、VRと情調をリンクするのは難しい課題であるが、リンクしなければバラバラな断片的な記憶しか観光客脳裏には残らず、レポートはないと考える。 その課題の対策はあるのか? 上記対策をあやめ園にリンクさせてはどうか。</p> <p>※間違っても観光地にQRコードを表示してQRコードを読み込むと短編動画/うんちくが流れる仕組みをDX推進とは考えないで欲しい。 どの自治体でもとうの昔から導入しており今更感が漂う(AR拡張現実と言う仕組み)。何度も言うが 0から1を生み出して欲しい。</p> <p>あやめ園の問題点としては複数あると感じる。 あやめ園は平成29年に行われた審議会によって入園料無料の継続が決定している。 上記決定により入園料を徴収する事が出来ない中に、維持管理費は発生してしまっている。</p>	<p>市HPのYouTubeの動画再生数が職員数を下回っている件につきましては、ご指摘のとおり職員全員が見ていないことを証明する結果です。こうした事態を受け、今後どのようにすれば良いか、いただいた意見も取り入れながら模索していきたい考えです。</p> <p>「QRコードを表示してQRコードを読み込むと短編動画/うんちくが流れる仕組みをDX推進とは考えないで欲しい。」とのご意見ですが、DXのひとつと考えています。日中に前川あやめ園に訪れた方がQRコードを読み込むと、「宵の嫁入り舟」の様子の動画が流れます。もちろん、この「宵の嫁入り」の動画を紹介する方法はいくつかありますが、日中に訪れた方が「夜の嫁入り舟」を見てみたいと思わせるきっかけとなればと考え、無料の範囲で実証実験的に実施したものです。無論、QRコードを読み込むだけで終わらせるつもりはありません。本計画では「AR等を活用した地域プロモーションの拡充」として観光DXに取り組む旨を記載しております。そのため地域プロモーションの拡充においては、ARだけでなくVR、それらを複合させたXR等の最新のICT技術の活用も見据え、潮来市に訪れてみたいと思っただけのよう実施方法については考えてまいります。</p> <p>なお、前川あやめ園の収入構造及び奥行に着目したご意見も踏まえてこれからの前川あやめ園の展開、維持管理に努めます。 また、VRに関する解説、大変ありがとうございました。参考にさせていただきます。</p>

提出されたご意見と潮来市の考え方(潮来市DX推進計画(素案)に対するパブリックコメント)

NO.	提出された意見	市の考え方
	<p>位置づけとしては、市民のあやめ園と考えられている。 市民のあやめ園は問題はないが、市民と観光をどう辻褃を合わせながら(バランスを取りながら)維持管理費を捻出しながら、維持ではなく発展させていくかが課題である。</p> <p>私はあやめ祭りや藤祭り？を勘違いしまして、潮来市のあやめ祭りではなく藤祭りに出向いた時に、藤が枯れて天井からパラパラと茶色い何かが落ちて来るなど感じていた物が藤でした。 あやめは現在植えている？最中で、あやめの姿は見受けられませんでした。 せっかくなのであやめを見てみようと思立ち、香取市のあやめ園に行くかと驚きました。 綺麗に手入れされた園内、あやめらしいものが綺麗に咲いていて見ごたえを感じました。(あやめかは確証はないが綺麗な花が見ごたえがあった、潮来では花らしい花は存在を見つけれなかった)</p> <p>潮来あやめ園では駐車場がほぼないのか、駐車するには隣接する民間法人などの駐車場を無断使用か民間有料駐車場、民間有料駐車場を使用すると香取市あやめ園の入園料と同等の金額を払う必要がある。(香取市は駐車場無料で綺麗な駐車スペースが大きい面積が確保されている)</p> <p>駐車場でも違いが見え隠れた。 潮来市の少ない無料駐車場？民間駐車場には水戸ナンバーが大半を占め、 香取市の市営無料駐車場には都内ナンバーが大半を占めた(私は車に詳しいが車の車格にも違いが見えた)。</p> <p>私の推測の域は越えないが、入園料を徴収し徴収した財源を生かし、園の年間を通した維持管理、年間を通した維持管理の成果+市の営業努力(入園料を営業PR活動へ割り当てている?)により、遠方から観光客が来ていると感じる。</p> <p>民間駐車場の収入(潮来)、入園料収入(香取)は、1台当たり同一金額帯、 観光客(ユーザー)は払う場所が民間と市営で異なるだけで払う額面は同一金額帯、 香取市と潮来市のあやめ園には大きな収入構造の差が発生していると考えられる。</p> <p>上記スキームは単純明快な話に見えるが、重大な差が生まれる話と考えられる。</p> <p>この差以外にも潮来市のあやめ園は非常に奥に深い細長い作りになっており、 その奥深しさともとらえられる部分をPR/露出/体験させていく事が何かのヒントに繋がっていくのではないかと考えられる。</p> <p>潮来市のあやめ園は入園さえすれば、奥深い情調が感じ取れる気もするが、入るまでは奥深さが外見からは判断がつかない。 (判断出来ると言う認識は、何度も足を運んだ事があるので言えることであり、全体像を把握出来ていないユーザーには判断は出来ないと感じる)</p> <p>四角い土地の香取市あやめ園 = 見ごたえ 細長い奥深い土地の潮来市あやめ園 = 奥深く情調を感じる</p> <p>ドローンでの航空撮影、プロカメラマン撮影、動画撮影、どうにも奥深さが表現できないのではないかと感じる。</p> <p>VRの絵は登場するが、VRに触れている計画はなく、VRの解説もないので私が軽い解説 ↓</p> <p>VRは「Virtual Reality」の略で、「人工現実感」や「仮想現実」と訳されています。ここには「表面的には現実ではないが、本質的には現実」という意味が含まれ、VRによって「限りなく実体験に近い体験が得られる」ということを示します。VRを通して得られるリアルな体験が、あたかも現実であるかのように感じられるということです。 (メガネ内で上記を感じる事が出来る)</p>	
15	<p>又、上記同様の5-3-4にあるPRキャラクターの活用とあるが、別で記載している問題点のよしきり？(すずめ?)を私は存じ上げておりませんが、PRが足りていないのではと疑問が残るが？</p> <p>最近あやめちゃんの露出も少なく感じる。</p>	<p>潮来市PRキャラクターが多くの方に親しみを持っていただけるようPRに努めます。</p>

提出されたご意見と潮来市の考え方(潮来市DX推進計画(素案)に対するパブリックコメント)

NO.	提出された意見	市の考え方
16	<p>潮来市第7次総合計画には、何か全てが他人ごと、連携？連帯？、一体誰に問いかけているのかが不透明な計画であり(計画と言う文字の羅列なだけと言う言い訳は不要、計画にも血や熱意が通うべきである)、特に自主財源を活用し独自の政策をする事もなく、大半が外部に丸投げ(他人ごと)の気配が窺える。他人ごとではなく自分ごとの意識作りが必要では？</p> <p>自分ごとの中でのみ、住民参加型の官民共同コミュニティは構成できると考える(他人ごとのコミュニティでは、先生がいらない教室に通うようなもので、その時間に何を学ぶべきかが不透明になる)</p> <p>他人ごと丸投げ(例) 外部に100万円を投げてしまうと、必要経費で実態として使える額面は目減りしてしまう。目減りした額面で出来ることを考えるより、100万円を無駄なく創意工夫しながら使った方が自主財源が乏しい状態では賢明な選択ではないか？ (そんな時間がないなどの言い分も理解できるが、解決策として意見21)参照) その先に官民共同コミュニティが生まれるのではないか</p>	<p>本来であれば市役所のみが行うことを連携や連帯という形で行政が行うべきことを棚卸しする意味合いで用いているわけではありません。確かに、総合計画での基本構想では、表現が抽象的であり、基本計画では「施策の展開」を盛り込んでおりますが、独自の政策についてはその性格上、総合計画の基本計画には記載できていないものがあります。計画策定の段階で市民の方に参画してもらうなど住民参加型のコミュニティを形成することは、ご意見がありましたように有益な手法であると考えます。</p>
17	<p>意見16)の、丸投げしてもかまわないが、外部に投げた後に仕上がりや結果の統計をとり、今後の丸投げるの参考にするとはしているのか？</p> <p>潮来市職員で昨今愛用されている、住民への対応や議会答弁での調査/研究すると言うワードには、調査/研究には過程や成果の発表が一体であり、単体で終わらないのが適切な言葉の意味とを感じるが、丸投げ(他人ごと)以外でも、普段から住民への対応や議会答弁で愛用した調査/研究すると言うワードへの過程(プロセス)や成果(達成率/解決)をどこで誰に対して発表/公示しているか。</p> <p>私は小学生以来ここまで研究と言う言葉を聞くことはなかった。</p>	<p>本計画はコンサルタントに委託することなく、職員が自前で作成しております。例えば、他の計画でコンサルタントに委託して作成した場合には、ワーキンググループや職員全体で中身を確認してもらうなどしております。また、委託した場合にはそれぞれの所管課において、今後の委託業務の課題等の把握に努めています。住民や議会答弁で「調査する。研究する。」と答えた場合は、事案について、どのような進み具合か答えられるよう進捗把握をしています。</p>
18	<p>自主財源が乏しく厳しい状況とは見て取れるが、潮来市第7次総合計画の第3節の2(持続可能なまちづくりのあり方)の歳入確保への不断の改革に対する、不断の何かが見えてこないで、この不断の何かが見えない状態では自主財源を確保して独自の政策が出来ないと強く懸念するが？不断と言う言葉を使うのならば、不断をおこなう箇所を潮来市第7次総合計画から住民にわかりやすく明記するべきではないか。</p>	<p>不断の改革のひとつの例としましては、事務事業評価の手法を取り入れ、行財政の適正かつ効率的な運営を図っていくことが挙げられます。事業の縮小や廃止など事業を整理することにより歳出を抑制し、新たな政策を展開したりすることです。また、この考え方は特定の事業に限定せず事業を行うにあたっては持ち合わせる必要があるものですので、総合計画においては不断を行う箇所は記載していません。</p>
19	<p>あくまで国や県から降りて来る予算は必要最低限であり、自主財源を加えて、独自の政策をしなければ潮来市第7次総合計画に記載がある通り、隣接する市町村に住民が移動してしまうリスクを下げられないのではないかと(もちろんUターンなども期待出来ない)</p>	<p>自主財源確保の点では、ふるさと納税など歳入増加を図りつつ、事務事業評価を実施し、歳出抑制に努め、独自の政策を展開できるよう努めています。</p>
20	<p>現在潮来市は財政力指数が0.4後半だが、0.4前半から0.3台に下がる速度は思ったよりも急降下と考えられる。0.4前半になる前に、限られた予算の中で、厳しい選択と集中の中に何かが見えて来るのではないかと？</p>	<p>事業の廃止や縮小など、またそれとは反対に拡充、新規事業などを事業評価として実施しており、選択と集中を実施しております。</p>
21	<p>・総務省に言われた事をそのままやるだけの張りぼての計画を、潮来市DX推進と名付けただけではいか？ ・仕事10 - DX推進効果による事務減少2 = 職員の限界生産性が8? ではなく10に戻さなければいけない(10にしなればDX推進の意義とは？の話になる)</p> <p>10-8で生み出された2と言う潮来市の貴重な資源を、適切な扱いが出来るのか。</p> <p>上記2を何度も述べている0から1を創出する時間に当てれば良いのではないかと。</p>	<p>国のDX推進計画に基づいて、各自治体がDX推進計画を策定しているケースが多いので、似通った計画になっている傾向と思われませんが、潮来市としてどのようなことに取り組むかについては、具体的取組事例として記載しております。DX推進効果による事務減少量2の扱いについては、ご意見のとおりです。削減できた2の分量をこれまで割り当てができなかった時間に当てていくことになります。</p>
22	<p>・意見公募手続き(パブリックコメント)を、潮来市は行わなくとも市政(DX推進など)に参加できるとらえられるが、それは本当なのか？ ・パブリックコメントと政策担当に伝えると言う、同様にも見える行為の内どちらが有効的な市政への参加の方法なのか？ ・政策担当は一住民の意見を聞く耳を持っているのか？ (厳密には聞く気があるのか)</p>	<p>パブリックコメントを実施している計画などでは、意見をいただく型式に参加していただくこととなります。また、各事業における担当者に意見を伝えることも可能です。住民の意見を聞くことは当然なことですので、どちらの方法でも意見をお伺いします。ただし、いただいた意見をすべて反映できるか、一部反映できるか、また、反映できないものかを検討する必要がありますので、ご理解いただきたいと思います。</p>

提出されたご意見と潮来市の考え方(潮来市DX推進計画(素案)に対するパブリックコメント)

NO.	提出された意見	市の考え方
23	過去のパブリックコメントにて提出意見が近隣の市町村と比べても少なく感じるが、行政手続法 意見公募手続(第39条)広く一般の意見を求めなければならない、はずだが、なぜ広く意見を求めないのか？	本計画では、広報いたこ、広報いたこ情報版、市ホームページ、SNS、ラジオなどで周知し、広く意見を求めています。今後は現状よりも多く意見が出るよう周知方法も含め考えてまいります。
24	<p>直近のパブリックコメント＝ 潮来市過疎地域持続的発展計画内の提出意見で、</p> <p>1つめの子ども向けの公園についてです。          自宅近くの公園は遊具は老朽化しており、滑り台の足場は錆びて穴が空き非常に危険です。夏は草刈りが間に合っておらず虫だらけ、砂場は猫か犬の糞がそのまま置いてあることもあり不衛生です。</p> <p>という意見がある。</p> <p>それに対しての市の回答が、</p> <p>・本計画(素案)におきましても、公園施設の整備及び利活用については、「3産業の振興」、「6生活環境の整備」及び「9教育の振興」</p> <p>それに対しての市の回答が、</p> <p>・本計画(素案)におきましても、公園施設の整備及び利活用については、「3産業の振興」、「6生活環境の整備」及び「9教育の振興」</p> <p>コピペ？</p> <p>こんな乱雑なパブリックコメントに対する意見への回答方法を他の市区町村では見た事がないが、</p> <p>非常に不親切な回答であり、ここに書いてあるから読めよ、潮来市役所が決めた事以外は受け入れません、と言うような回答と個人的に感じる。(続きの意見への回答も同形状)</p> <p>これでは今後の意見が集まりにくく、行政手続法 意見公募手続(第39条)広く一般の意見を求めなければならない、</p> <p>をクリア出来ないと個人的には考える。          そもそも潮来市過疎地域持続的発展計画を考えるにあたり、議会で同様の質問が繰り返された。</p> <p>同様の質問とは、 潮来市過疎地域持続的発展計画にあたり市民の意見を取り入れる必要がある。</p> <p>それに対しての市職員政策担当、その他の関係する担当職員の答弁は、</p> <p>パブリックコメントで意見を公募する</p> <p>あくまで概略を作るだけであり、概略なので(解決策ではない)、他自治体も同じ作り方</p> <p>と言う答弁を繰り返した。</p> <p>議会の答弁内容では、住民の意見をしっかり取り入れると言う質問に対して、パブリックコメントにて取り入れる方針と聞こえたが、現実には上記のとおりコピペ。</p> <p>(パブリックコメントでは参加ハードルが高すぎるので、住民の意見を取り入れる他の場が必要と言う説得も行われたが、結局はパブリックコメントは実施された)</p>	<p>当該公園の管理についてのご意見に対する回答になっておらず、ご意見をいただいた方に不快な思いをさせてしまったことを反省いたします。公園の中には地区で管理している公園もあり、公園全てを市で管理しているわけではございません。いただいたパブリックコメントで市でどこの公園か特定しなかった落ち度はございます。市で管理している公園であれば、年に数回は除草作業を実施しておりますが、時期によっては草が伸びてしまっている状況もございます。人員、予算の限られた中、常に草を短くできている状況ではないこともご理解願います。</p> <p>また、パブリックコメントは、市民の方が市政に参加することができる機会ですので、より多くの方に意見をいただけるよう考えてまいります。</p> <p>なおパブリックコメントは提出いただいたご意見を全てそのまま取り入れるものではなく、政策等の意思決定にあたりご意見を考慮させていただくものです。そのため、提出いただいたご意見通りに政策等を実施することができない場合があることもご理解願います。</p>

提出されたご意見と潮来市の考え方(潮来市DX推進計画(素案)に対するパブリックコメント)

NO.	提出された意見	市の考え方
	<p>広く一般の意見を求めなければならないとは、</p> <p>※ 意見の数を集めることであり、数の問題である。 ※ 0～数件の意見では統計調査すら出来ないと推測する</p> <p>意見を募集する行為自体を求めると勘違いしていないか？</p> <p>意見にある、 自宅近くの公園は遊具は老朽化しており、滑り台の足場は錆びて穴が空き非常に危険です。夏は草刈りが間に合っておらず虫だらけ、砂場は猫か犬の糞がそのまま置いてあることもあり不衛生です。</p> <p>この意見を提出されてから（提出期限最終日の令和4年7月27日扱いと考えて）、</p> <p>1年以上経っているが、私が知る限りでは公園は子供が入ると七不思議の失踪事件に発展するのではないかレベルの大人の背丈の草、 遊具は老朽化していて大人の私はリスクを考えて近寄らなくするレベル（怪我をしたら働けない）、</p> <p>虫は草が生えすぎていて逆に近寄れないので虫の姿は見えないので問題なし。</p> <p>加えて、煙草の吸い殻、ゴミなど非常に不衛生で私は気づいたら拾ってはいるが、草が凄すぎて拾いきれないレベル。 ※不思議な事に公園周辺などに分別失敗シールが貼られていない正しく分別されたゴミ入りのゴミ袋 特に軽い缶やペットボトルが入った緑色のゴミ袋が落ちている、公園以外にも町中で緑色のゴミ袋が落ちているのを見かける。</p> <p>1年前のパブリックコメント前に私は潮来市役所へ何度もこの状態を訴えかけたが相手にされず、私で出来る範囲のゴミは拾っている日々のさなか、パブリックコメントの意見を拝見させていただきまして、 法的（厳密には潮来市パブリックコメントの要綱）効力で公園問題が解決の方向に向かうと期待しておりました。</p> <p>しかしながら現実には上記の悲惨な状態でした。</p> <p>パブリックコメントにて意見を公募して数少ないと言いますか、1件の意見さえも叶えられない（考慮できない） 道路を作れ、許認可の話など無理な意見ではないはず、</p> <p>この状態でなぜ今回もパブリックコメント？ まずはやるべきことがあるはずでは？</p> <p>提出意見の考慮（第42条） 意見提出期間内に命令等制定機関に提出された命令等の案についての意見を十分に考慮しなければならない。</p> <p>第42条と上記事柄に関してどう説明するか？</p> <p>結果的に私は潮来市の公園使用を諦めて鹿嶋/神栖の公園を利用している。 他市町村の一般的な公園はいつ行っても問題がなく使用できる状態になっている。</p>	
25	<p>提出意見の考慮（第42条） 意見提出期間内に命令等制定機関に提出された命令等の案についての意見を十分に考慮しなければならない。</p> <p>結果の公示等（第43条） (3) 提出意見、(4) 提出意見を考慮した結果及びその理由、を公示しなければならない。</p> <p>上記を踏まえた上で意見25) までの回答を適切かつ親切に求めます。</p> <p>回答を適切かつ親切に努めた根拠を提示するのが意見25) への回答になります。 ( 誰一人取り残さない ように私が理解できるようにお願いいたします )</p>	<p>提出された意見及び市の考え方を本資料の通り公表いたします。</p>

提出されたご意見と潮来市の考え方(潮来市DX推進計画(素案)に対するパブリックコメント)

NO.	提出された意見	市の考え方
26	<p>この手の計画だと用語集が巻末についているのが普通なのに、この計画ではページの下のの方に付いていたので、読みやすかった。でも難しいことが書いてあるので理解できたかどうかと問われると、全部を理解できていないのかもしれない。</p> <p>市役所に出す書類から押印をしなくなった理由がオンライン申請のためだと理解できました。</p> <p>すべての人が市役所とデジタルでやりとりするのか、デジタルに対応できない人にも従来のやり方で届けが可能なのかわかりませんでした。この計画は推進計画なので、これまでのように紙でもOKですよとは書いてないだけでしょうか。計画には変わることを書くのが一般的なルールなのか不慣れなので、計画に慣れていない人にとっては、書いてないことはこれまでと同じなんだよと当たり前前に解釈できるのかもしれませんが。</p> <p>市役所の職員さん全員がデジタル技術に強いわけではなさそうだと感じました。これからは、市民も職員さんも新しいやり方に合わせていくのだと思えました。それならば、市民が使いやすい、分かりやすいデジタル届出の仕組みにしてほしい。スマホで届けができるとか。</p> <p>ここに書いてあるもの全部が遅くとも令和7年度の末には、始まっていくのかもしれませんが、市民がすんなりと付いていくか自分も含めて心配です。でも、これまでのように紙でも届出ができると安心できます。</p> <p>若い人たちはパソコンでもスマホでも難なく使いこなせるのですが、年配の人にとっては持っていないとか使えないとか、不便になる気がします。今、40歳代の人でも20年もすれば高齢者になるので、使えない人はほとんどいなくなるのかもしれませんが、だから、面倒がらずにスマホの使い方になれていくしかないとも思いました。</p>	<p>デジタル技術に不慣れな方については、紙媒体での届出等の従来の手続きを残しながら、デジタル技術の利用を推進していくことを想定しています。</p> <p>また、市職員においても一人ひとりがデジタル技術に関する知識を習得し、適切に活用することができる研修等を実施し、市民の皆様が使いやすく分かりやすいサービスの提供に努めてまいります。</p>
27	<p>「その他の手続きにおいてもマイナポータル等の電子申請サービスや民間のICTを活用した行政手続のオンライン化を促進します」と書いてあるので、これからは、電子申請、電子手続が主になるのかなと思いますが、ぜひ、使いやすい、入力しやすい、イメージしやすい申請や届出を作ってほしいです。インターネットで買い物するとき、スマホから注文することが多くなりましたが、サイトによって使いやすい、入力しにくいとか、サイトによる差があって、正直、入力しにくいサイトもあります。電子申請とか電子手続のためのサイトを国が用意してくれるのか、潮来市が作るのかわかりませんが、潮来市がお金をかけて作るならば、お金が多少かかってもいいですから、申請しやすいサイトを作ってもらいたいです。入力がわからいづらいと、利用されなくなってしまうのではないかなと思います。</p> <p>あと、私自身は申請とかの機会は少ないのですが、仕事をしているので、休みを取ってわざわざ市役所に行かなくても、申請とか手続きとかが自分の手でできるようになることはありがたいです。スマホからも手続ができるようになるともっといいと思います。コンビニで取れる証明書もあって便利になりましたけれど、取れない証明書は市役所に行くしかありませんので、コンビニで取れる証明書を増やすとか、スマホからオンラインで取れるとかしてもらってもっと便利になると思います。</p> <p>身の回りで当たり前のように使われているソフトとかアプリが、市役所ではセキュリティの関係があると思いますけれど、市役所では使えないこともあるのではないのでしょうか。仕事でアナログでの処理数を少なくすることって、便利なソフトやアプリがありますので、セキュリティが大丈夫ならば、使えるものは使っていった方が職員さんも楽になるし、利用も広がっていくようになると思います。自分のことではないのですけれど、保育園ではコドモンというアプリを保護者のスマホで使い、子供の成長記録とかお休みするときの連絡とかもそのアプリでやりとりできるようになるそうなので、今より便利になるそうです。</p> <p>潮来市は私の出身地なので愛着もありますし、勤務先ですし、便利で住みやすい市になってほしいので意見を出しました。</p>	<p>デジタル技術の導入により、かえって不便となってしまう事が無いようサービスの提供にあたっては、市民の皆様の利便性を第一に考えます。</p> <p>また、市役所に来庁しなくても申請が可能な仕組みも導入してまいります。</p> <p>ご意見の通り身の回りで利用できる便利なソフトやアプリが、市のネットワーク環境ではそのまま利用できないものもあります。そのため、市のネットワーク環境に合わせセキュリティが確保されたサービスを市民の皆様提供することができるよう努めてまいります。</p>